

# 2010年答辞

毎朝、校門をくぐって眺めた時計台の針が三年間の時を刻み、別れの日がやって参りました。

本日は、私たちのために、このような素晴らしい卒業式を催して下さい、ありがとうございます。また、ただ今、校長先生をはじめ、ご来賓の皆様より温かい激励のお言葉を頂き、心より感謝申し上げます。

成田国際高校での日々は、あっという間に過ぎていきました。たくさんの「出会い」と「学び」を通して、心身ともに大きく成長することができた高校生活でした。

成田国際高校、通称「成国」は、様々なチャンスに恵まれた学校です。数多くの学校行事や、活発な部活動、そして、「国際高校」の名の通り、海外の姉妹校との交流や通訳のボランティア活動、国際化セミナー・短期留学などの様々な企画が実施されています。私は、一年生の時の祇園祭での通訳ボランティア参加した際に、一緒に活動した先輩方に見事な通訳ぶりにあこがれ、その後も積極的にボランティア活動に参加してきました。ボランティア活動は、社会に出て、人と出会い、また人のために働くことは必ず自分にもよい形で返ってくることを教えてくれました。また、短期留学にも、毎年30人以上の生徒が参加しています。短期留学は、他の国の文化を知るだけでなく、日本の文化の素晴らしさや自分自身を深く知るきっかけとなりました。そして韓国への修学旅行。言葉の壁を越えて友情を育んだ果川外国語学校での体験は、日韓の未来を担う私たち若い世代が交流することのできた、貴重な旅でした。日恵まれた環境は、先生方の深い愛情によって作られているものだと思うと、幸せを感じない日はありませんでした。

成国で過ごした三年間は、数々の思い出であふれています。中でもクラスも学年も忘れ、全校生徒で一丸となって取り組んだ雄飛祭は忘れがたいものです。文化の部は今年度から六月開催となり、例年よりも準備期間が短くなったため、多くの困難が待ち受けていました。私をはじめ、本部役員も苦しい思いをした時期もありました。しかし、その中で多くの人々に支えられ、すばらしい仲間と出会うことができました。例年よりも厳しい状況であったからこそ、クラスが団結し、全校生徒が工夫し、文化祭を成功させることができたと思います。INNOVATIONというテーマのとおり、今回の雄飛祭を作り上げた力が成国のひとつの改革として引き継がれ、さらに発展することを願っております。

行事はもちろんのこと、日々の生活のほんのささやかなことでも、卒業を迎えた今では、かけがえのないものとなりました。毎日通った通学路、昇降口、中庭、仲間とともに汗を流したグラウンドや体育館、そして毎日過ごした教室。虹の架け橋や青空廊下、階段の一段一段にさえ、それぞれの記憶があります。成国は、大好きな仲間と過ごした、大好きな場所です。

在校生のみなさん、成国にあるたくさんのチャンスを生かすのも無駄にしてしまうのも自分自身です。検定を受験したり、部活動に打ち込んだりして、毎日の生活の中にある時間を充実させて下さい。そして、自分が本気で夢中になることができる「何か」を見つけてください。辛くても、夢中になれるものがある人は幸せだと思うのです。高校生という守られた立場にいる皆さんは、何にでも挑戦することができます。一人ひとりが前向きにチャレンジし、成田国際高校を益々明るく、活気のある学校にして下さい。

三年間、私たちを支えて下さった先生方。先生方に教えていただいたことの中には一つの教科にとどまらない、人生の道標となる教えがありました。元気が過ぎてご迷惑をおかけしてしまうこともありましたが、私たちが無事に卒業の時を迎えることができたのは、先生方のお力添えがあったからです。先生方の教えを忘れず、自己を実現する方向を見極めて参りたいと思います。

保護者の皆様、十八年間、私たちを育てていただきありがとうございました。いつの日も私たちの寄り添い、愛情を注いでくださったことを力に、今日を区切りとして、自立し、ご恩返しができるよう励んで参ります。

この先、私たちを待ち受けている社会情勢は大変厳しい状況にあります。失業者は年々増加し、人々の心の荒みを表すような事件也多発しております。明るく輝かしい未来が保証されいるとは言えません。しかしながら、これからの世界を変えていくのは私たち若い世代です。ウォルト・ディズニーの言葉に次のようなものがあります。【The special secret of making dreams come true can be summarised in four C's. They are Curiosity, Confidence, Courage Constancy =夢をかなえる秘訣は四つのCに集約される。それは、「好奇心」、「自信」、「勇気」、「継続」である。】願いつけることで夢は形になっていきます。保証を求めるのではなく、困難の中にあっても希望を失うことなく、新しい未来を築いて参ります。

ご臨席の皆様、在校生の皆さん。私たち卒業生281名は、本日、思い出多い母校を巣立ち、それぞれの道へと歩み出します。成田国際高等学校で培った国際感覚を誇りに、私たちの成長を見守って下さった全ての方々への感謝を胸に、いつの日か立派に成長した姿をお示しすることができるよう、これからも努力していくことをお誓い申し上げます、答辞とさせていただきます。

平成22年3月8日

卒業生代表

新山愛梨